

ぶんりゅうⅡ型

雨水分流除塵器

取扱い説明書

- 【1】 施工手順
- 【2】 取付後の確認事項
- 【3】 維持管理の方法

【1】施 工 手 順

既設の建物に後付けする場合の一般的な施工手順です。

新設の建物の場合、縦樋と「ぶんりゅうⅡ型」を直結して同様に施工してください。

- ① 雨水を取水する縦樋の下もしくは近くに
ぶんりゅうⅡ型の設置場所を決め、直径
50cm程度の穴を掘ります。タンクへの配管
を埋設にする場合は穴の深さは通常50cm
～70cm程度、底面には碎石を敷き、しっ
かり締め固めます。(図1)

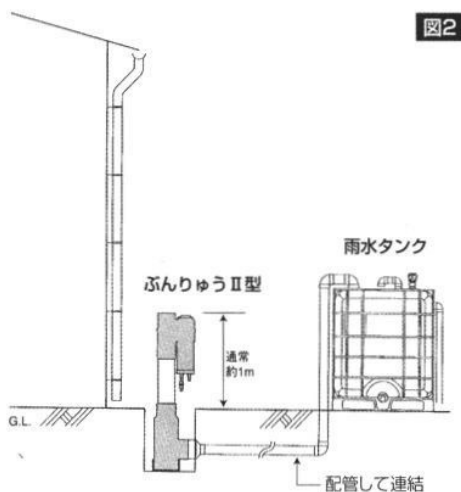
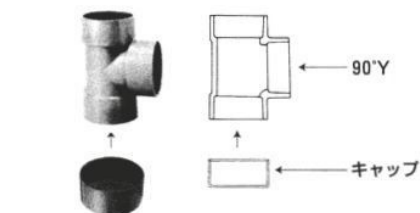
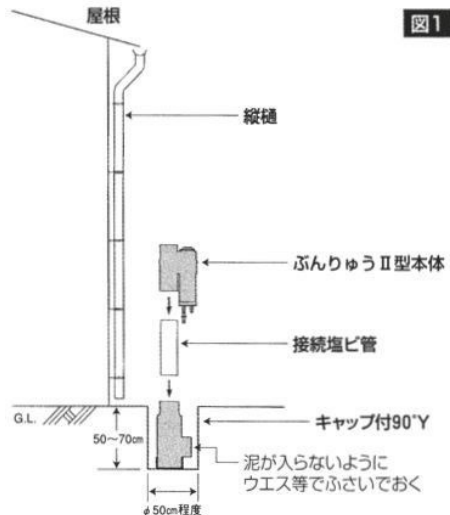
地上配管の場合はキャップ部分が埋まる
程度の深さ(10cm程度)にし、同じく碎石を
敷き、しっかり締め固めてください。

- ② この穴の中にキャップ付き90度Yを設置し、
これに接続塩ビ管(通常80cm程度)を立ち
上げ、さらにその上にぶんりゅうⅡ型本体を
設置します。接続塩ビ管は通常VU150、
90度Yも呼び径150を使います。

縦樋の長さが長い場合などは呼び径200
の90度Yを使い、インクリーザーで調節して
配管してください。安定性、自立性を確保
するためです。

また、キャップ付き90度Yの配管口部には泥
が入らないように、ウエス等で蓋をしておき
ます。(図1)

- ③ ぶんりゅうⅡ型と雨水タンクの間の配管経路
を決定し、この経路にそって必要な深さの溝
を掘り、雨水タンクの流入口とキャップ付き
90度Yの間を配管します。(図2)



④ 水漏れ確認や通水確認、メンテナンスのために縦樋の途中に90度大曲Yを設置しても良いです。
開口部には必ず防虫網付きキャップをはめてください。(図3)

⑤ 縦樋の真下にぶんにゅうⅡ型を設置することが難しい場合などは例えば45度のエルボなどを用いてスペースを確保し、位置決めを行ってください。(図4)

⑥ いちど全体を組み上げてみて間違いないことを確認した後、各接合部を接着剤で接着し、配管を完了します。

⑦ ぶんにゅうⅡ型の作動や配管部に水漏れ箇所がないことを確認した上で、雨水タンクとぶんにゅうⅡ型の間の溝を埋め戻して作業終了となります。

⑧ 縦樋が10mを超えるような場合は塩ビ管の伸縮によりぶんにゅうⅡが引っ張られ、破損する可能性があります。
伸縮継手などでの対応をお願いいたします。

図3

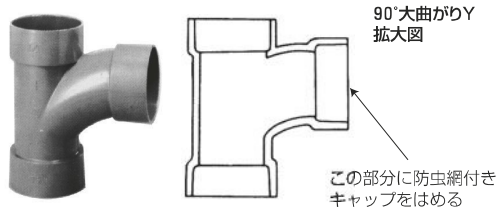
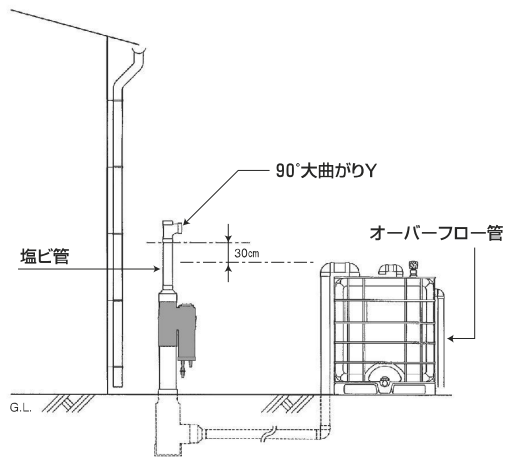
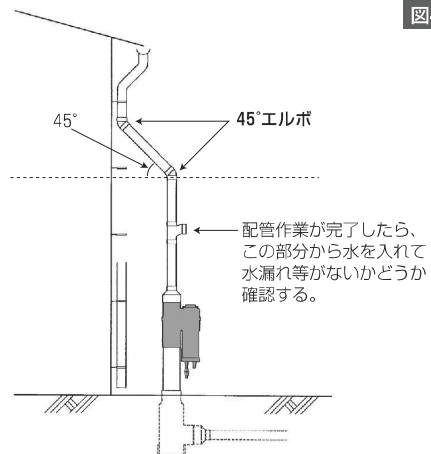
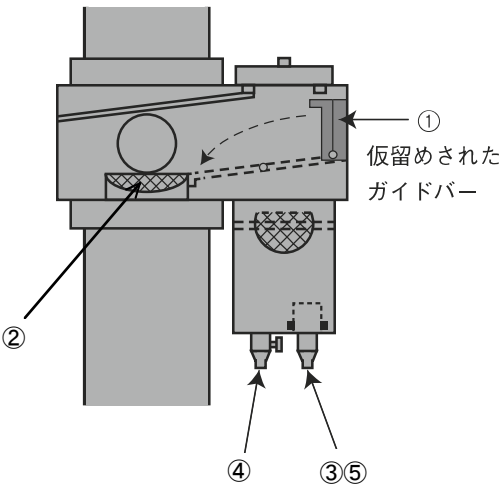


図4



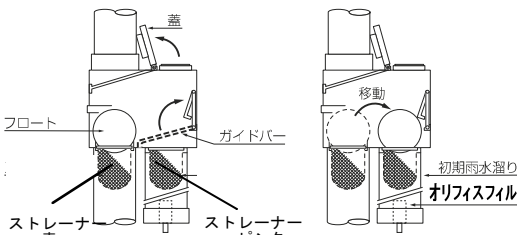
【2】 取付後の確認事項

① 施工終了後に本体内部のガイドバー (本体に仮留めしてあります)を伸ばし、 フロートの手前へセットします。	図5 
② ストレーナー(青)のつまみ部分がきちんと 溝部におさまっているか確認します (フロートの動きを邪魔する原因になり ます)。	
③ オリフィスφ1、φ2、φ3のいずれかを セットしてください。 <u>接着は不要です。</u>	
④ オリフィス横のバルブは通常時は 必ず閉めておいてください。 (清掃時に開)	
⑤ オリフィスの処理について 地上に垂れ流しのため(降雨後、初期雨水 溜りの中の雨水が全て排出されたら 止まります)、必要に応じてホース配管 または塩ビ管等で配管処理を してください。	

【3】維持管理の方法

(1) 本体内部の掃除

周辺環境にもよりますが通常 1～2 ヶ月程度、次の手順に従って内部の掃除を行ってください。

① 管理ボックス上部の蓋を上げて開口部から内部に手を入れ、ガイドバーを側壁に起こします。(図6、図7)	図6  ▲開口部から手を入れて掃除を開始
② 管理ボックス内の落ち葉などの大きなゴミは手で取出して除くか、ストレーナー(ピンク)内に落とし込んでおきます。	図7  ▲管理ボックス内のガイドバーを起す ▲フロートを移動
③ ストレーナー(青)の上部に位置しているフロートを管理ボックス内の初期雨水溜り側に移動させ、ストレーナー(青)を取出し、水洗いした上で元の位置に戻します。その際、ストレーナー(青)の取出しはフレームに付いているツマミを強く引いて溝にはまっているフレーム下部を溝から外して行い、水洗い後はフレーム下部の溝にしっかりとめ合わせて元に戻してください。フロートも元に戻します。(図7、図8)	図8  ストレーナー(青) ストレーナー(ピンク)
④ ストレーナー(ピンク)を同様の要領で取出し掃除します。次に初期雨水溜り下部のドレンバルブ(オリフィスのとなり)を全開にした上で、初期雨水溜り内にホース、ジョウロ等で水を流し込み、内部に堆積している塵埃を流水とともに外部に排出させます。初期雨水溜りの中にはオリフィスフィルターがありますのでこちらの清掃も適宜お忘れなくお願いします(→P6参照)。(図9)	

⑤ ストレーナー(ピンク)も青と同じ要領で元の位置に戻し、ガイドパーも伸ばして元の位置にセットし直します。	図9
⑥ ドレンバルブを閉め、管理ボックス上部の蓋を開けてメンテナンス終了です。	
⑦ 地下直結タイプの場合は「フロート」を「整流盤」に置き換えて、同様に作業してください。ただし、<u>地下直結タイプにはガイドパーは存在しませんのでご注意ください。</u>	ドレンバルブ  ▲ドレンバルブを開いて塵埃を洗い流す

(2) 交換可能部材について



ストレーナー(青)



ストレーナ(ピンク)



オフィスフィルター



オフィス3点セット



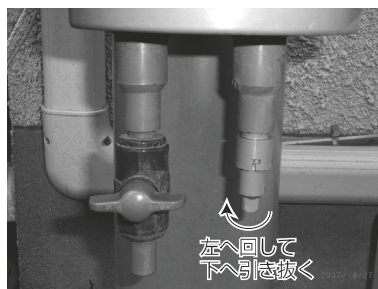
コンパクトボールバルブ

(3) オリフィスの目詰りと掃除

初期雨水溜りに雨水が溜まっている場合はドレンバルブを開いて排水して下さい。

その後、図12のように掃除棒（針金）をオリフィスの孔に挿入して掃除してください。

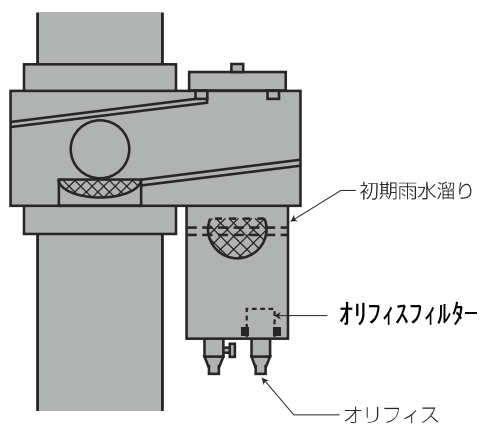
図12



(4) オリフィスフィルターの掃除

オリフィスフィルターを覆っている網の目が詰まり、オリフィスの通水機能が阻害されていることが考えられる場合は、初期雨水溜り側のストレーナー（ピンク）を取外してください。その下にあるオリフィスフィルターを引き抜いて取り外して水洗いなどで清掃し、元に戻してください。（図13）

図13



[製造・発売元]



株式会社トーテツプラス

TOTETSU-PLUS CO., LTD.

URL <https://www.totetsu-plus.co.jp/>